

平成22年 3月5日付け厚生労働省告示第76号に基づく 「厚生労働大臣の定める事項」は下記のとおりです。

1. 入院基本料に関する事項

一般病棟では、1日に132人以上の看護職員を、次の時間帯毎に配置しています。

- ・朝8時45分～夕方16時45分まで、看護職員1人あたりの受け持ち患者数は4人以内です。
- ・夕方16時45分～深夜0時45分まで、看護職員1人あたりの受け持ち患者数は11人以内です。
- ・深夜0時45分～朝8時45分まで、看護職員1人あたりの受け持ち患者数は12人以内です。

結核病棟では、1日に11人以上の看護職員を、次の時間帯毎に配置しています。

- ・朝8時45分～夕方16時45分まで、看護職員1人あたりの受け持ち患者数は4人以内です。
- ・夕方16時45分～深夜0時45分まで、看護職員1人あたりの受け持ち患者数は8人以内です。
- ・深夜0時45分～朝8時45分まで、看護職員1人あたりの受け持ち患者数は12人以内です。

精神病棟では、1日に7人以上の看護職員を、次の時間帯毎に配置しています。

- ・朝8時45分～夕方16時45分まで、看護職員1人あたりの受け持ち患者数は10人以内です。
- ・夕方16時45分～深夜0時45分まで、看護職員1人あたりの受け持ち患者数は15人以内です。
- ・深夜0時45分～朝8時45分まで、看護職員1人あたりの受け持ち患者数は15人以内です。

2. 歯科疾患総合指導料に関する事項

初診で継続的な管理を希望する方は、病名、症状、治療計画及び治療期間等に関する一連の治療計画を策定し、治療計画に基づいた総合的な指導を行います。ご希望の方は、主治医までお申し出下さい。

3. 当院は、入院医療費の算定にあたり、包括評価と出来高評価を組み合わせる“DPC対象病院”となっています。

医療機関別係数：1.5446

基礎係数：1.0708、機能評価係数Ⅰ：0.3373、機能評価係数Ⅱ：0.0965

4. 近畿厚生局長への届出事項

基本診療料

- | | |
|------------------------------|-------------------------|
| 1 . 地域歯科診療支援病院歯科初診料 | 22 . 感染防止対策加算 1及び注2、注3 |
| 2 . 歯科外来診療環境体制加算 2 | 23 . 患者サポート体制充実加算 |
| 3 . 歯科診療特別対応連携加算 | 24 . 褥瘡ハイリスク患者ケア加算 |
| 4 . 一般病棟入院基本料 急性期一般入院料1 | 25 . ハイリスク妊娠管理加算 |
| 5 . 結核病棟入院基本料 7対1 | 26 . ハイリスク分娩管理加算 |
| 6 . 精神病棟入院基本料 13対1 | 27 . 精神科救急搬送患者地域連携受入加算 |
| 7 . 総合入院体制加算 2 | 28 . 呼吸ケアチーム加算 |
| 8 . 超急性期脳卒中加算 | 29 . 後発医薬品使用体制加算 1 |
| 9 . 診療録管理体制加算 2 | 30 . データ提出加算 2 |
| 10 . 医師事務作業補助体制加算 2 15対1 | 31 . 入退院支援加算1 注4、注7、注8 |
| 11 . 急性期看護補助体制加算 25対1 (5割以上) | 32 . せん妄ハイリスク患者ケア加算 |
| 12 . 看護補助加算 2 (※精神病棟入院基本料) | 33 . 排尿自立支援加算 |
| 13 . 療養環境加算 | 34 . 認知症ケア加算 1 |
| 14 . 重症者等療養環境特別加算 | 35 . 精神疾患診療体制加算 |
| 15 . 無菌治療室管理加算 1 | 36 . 救命救急入院料 3 注3、注7加算 |
| 16 . 緩和ケア診療加算 | 37 . 特定集中治療室管理料 4 注2加算 |
| 17 . 精神病棟入院時医学管理加算 | 38 . ハイケアユニット入院医療管理料 1 |
| 18 . 精神科身体合併症管理加算 | 39 . 小児入院医療管理料 4 |
| 19 . 精神科リエゾンチーム加算 | 40 . 地域医療体制確保加算 |
| 20 . 栄養サポートチーム加算 | 41 . 夜間100対1急性期看護補助体制加算 |
| 21 . 医療安全対策加算 1及び注2のイ | 42 . 夜間看護体制加算 |

特 掲 診 療 科

1	歯科疾患管理料の「注 11」に掲げる総合医療管理加算及び歯科治療時医療管理料	53	精神科作業療法
2	遠隔モニタリング加算	54	抗精神病特定薬剤治療指導管理料（治療抵抗性統合失調症治療指導管理料に限る。）
3	がん性疼痛緩和指導管理料	55	医療保護入院等診療料
4	がん患者指導管理料イ	56	人工腎臓
5	がん患者指導管理料ロ	57	導入期加算 1
6	がん患者指導管理料ハ	58	透析液水質確保加算及び慢性維持透析濾過加算
7	がん患者指導管理料ニ	59	手術用顕微鏡加算
8	外来緩和ケア管理料	60	CAD/CAM冠
9	糖尿病透析予防指導管理料	61	組織拡張器による再建手術（乳房（再建手術）の場合に限る）
10	乳腺炎重症化予防・ケア指導料	62	椎間板内酵素注入療法
11	婦人科特定疾患治療管理料	63	脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術
12	院内トリアージ実施料	64	乳がんセンチネルリンパ節加算 1 及びセンチネルリンパ節生検（併用）
13	ニコチン依存症管理料	65	乳がんセンチネルリンパ節加算 2 及びセンチネルリンパ節生検（単独）
14	開放型病院共同指導料	66	ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術（乳房切除後）
15	がん治療連携計画策定料	67	食道縫合術（穿孔、損傷）（内視鏡によるもの）、内視鏡下胃、十二指腸穿孔瘻孔閉鎖術、胃瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）、等
16	外来排尿自立指導料	68	経皮的冠動脈形成術 （特殊カテーテルによるもの）
17	ハイリスク妊産婦連携指導料 1	69	胸腔鏡下弁形成術
18	薬剤管理指導料	70	胸腔鏡下弁置換術
19	医療機器安全管理料 1	71	経皮的中隔心筋焼灼術
20	医療機器安全管理料 2	72	ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術
21	医療機器安全管理料（歯科）	73	ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術（リードレスペースメーカー）
22	在宅患者訪問看護・指導料及び同一建物居住者訪問看護・指導料の「注 2」	74	両心室ペースメーカー移植術（経静脈電極の場合）及び両心室ペースメーカー交換術（経静脈電極の場合）
23	在宅血液透析指導管理料	75	植込型除細動器移植術（経静脈リードを用いるもの又は皮下植込型リードを用いるもの）、植込型除細動器交換術（その他のもの）及び経静脈電極除去術
24	持続血糖測定器加算（間歇注入シリンジポンプと連動する持続血糖測定器を用いる場合）及び皮下連続式グルコース測定	76	両室ペースメーカー機能付き植込型除細動器移植術（経静脈電極の場合）及び両室ペースメーカー機能付き植込型除細動器交換術（経静脈電極の場合）
25	持続血糖測定器加算（間歇注入シリンジポンプと連動しない持続血糖測定器を用いる場合）	77	大動脈バルーンパンピング法（IABP法）
26	遺伝学的検査	78	バルーン閉塞下逆行性経静脈的塞栓術
27	BRCA 1/2 遺伝子検査	79	体外衝撃波胆石破碎術
28	H P V 核酸検出及び	80	腹腔鏡下肝切除術
29	検体検査管理加算（IV）	81	体外衝撃波膀胱石破碎術
30	心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算	82	腹腔鏡下腓腫瘍摘出術
31	ヘッドアップティルト試験	83	腹腔鏡下腓体尾部腫瘍切除術
32	神経学的検査	84	早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術
33	内服・点滴誘発試験	85	体外衝撃波腎・尿管結石破碎術
34	画像診断管理加算 2	86	膀胱水圧拡張術

35	ポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影	87	医科点数表第2章第10部手術の通則の16に掲げる手術
36	CT撮影及びMRI撮影	88	輸血管管理料 I
37	冠動脈CT撮影加算	89	輸血適正使用加算
38	血流予備量比コンピューター断層撮影	90	人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算
39	外傷全身CT加算	91	胃瘻造設時嚥下機能評価加算
40	心臓MRI撮影加算	92	歯根端切除手術の「注3」
41	小児鎮静下MRI撮影加算	93	麻酔管理料 (I)
42	抗悪性腫瘍剤処方管理加算	94	麻酔管理料 (II)
43	外来化学療法加算 1	95	放射線治療専任加算
44	連携充実加算	96	外来放射線治療加算
45	無菌製剤処置料	97	高エネルギー放射線治療
46	心大血管疾患 リハビリテーション料 (I)	98	1回線量増加加算
47	脳血管疾患等 リハビリテーション料 (I)	99	定位放射線治療
48	運動器リハビリテーション料 (I)	100	保険医療機関間の連携による病理診断
49	呼吸器リハビリテーション料 (I)	101	保険医療機関間の連携におけるデジタル病理画像による術中迅速病理組織標本作製
50	がん患者リハビリテーション料	102	保険医療機関間の連携におけるデジタル病理画像による迅速細胞診
51	歯科口腔リハビリテーション料 2	103	クラウン・ブリッジ 維持管理料
52	救急患者精神科継続支援料		

入院時食事療養費

1 入院時食事療養 (I)

当院は、入院時食事療養 (I) の届出を行っており、管理栄養士によって管理された食事を適時 (夕食においては午後6時以降)、適温で提供しています。

5. 当院において2019年1月1日から12月31日までに行った手術件数は下記のとおりです。

医科点数表第2章第10部手術の通則の5及び6（歯科点数表第2章第9部手術の通則を含む。）
に掲げる手術に係る施設基準

区分1に分類される手術 手術の件数

ア	頭蓋内腫瘍摘出術等	13
イ	黄斑下手術等	0
ウ	鼓室形成手術等	0
エ	肺悪性腫瘍手術等	62
オ	経皮的カテーテル心筋焼灼術	0

区分2に分類される手術 手術の件数

ア	靭帯断裂形成手術等	1
イ	水頭症手術等	14
ウ	鼻副鼻腔悪性腫瘍手術等	1
エ	尿道形成手術等	3
オ	角膜移植術	0
カ	肝切除術等	30
キ	子宮付属器悪性腫瘍手術等	4

区分3に分類される手術 手術の件数

ア	上顎骨形成術等	7
イ	上顎骨悪性腫瘍手術等	6
ウ	バセドウ甲状腺全摘（亜全摘）術（両葉）	0
エ	母指化手術等	0
オ	内反足手術等	0
カ	食道切除再建術等	3
キ	同種腎移植術等	0

区分4に分類される手術の件数 325

その他の区分に分類される手術 手術の件数

人工関節置換術	51
乳児外科施設基準対象手術	0
ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術	61
冠動脈、大動脈バイパス移植術（人工心肺を使用しないものを含む。）及び体外循環を要する手術	153
経皮的冠動脈形成術	185
急性心筋梗塞に対するもの	32
不安定狭心症に対するもの	26
その他のもの	127
経皮的冠動脈粥腫切除術	4
経皮的冠動脈ステント留置術	250
急性心筋梗塞に対するもの	40
不安定狭心症に対するもの	39
その他のもの	171

6. 明細書の発行状況に関する事項

医療の透明化や患者への情報提供を積極的に推進していく観点から、領収証の発行の際に、個別の診療報酬の算定項目の分かる明細書を無料で発行しています。

明細書には、使用した薬剤の名称や行われた検査の名称が記載されるものですので、その点、御理解いただき、明細書の発行を希望されない方は、会計窓口にてその旨をお申し出ください。

7. 保険外負担に関する事項

当院では下記の項目について、その使用量、利用回数に応じた実費の負担をお願いしています。

名称	金額(円)	単位
診断書 自動車損害賠償保障法適用・生命保険等	5,500	枚
診断書 一般的なもの	5,100	枚
診断書 出生証明書・死亡診断書・院内様式等	3,600	枚
診断書 身体検査書・簡易な証明等	2,900	枚
証明書 入、通院期間証明（医師の判断を要しないもの）等	2,000	枚
妊婦検診	4,128	回
乳児検診（1ヶ月）	4,356～4,392	回
乳児検診（股関節）	1,344～7,284	回
産後検診	1,320	回
出産介助料（時間内）	123,000	児
出産介助料（時間外）	148,000	児
出産介助料（休日・深夜）	172,000	児
先天性代謝異常検査採血	3,500	回
オムツ代（新生児）	800	日
父親抱っこ面会時ガウン	170	枚
新生児介補料（自費）	10,000	日
ママBOOK	450	冊
お産セット （マタニティガウン・産褥ショーツ・防水シート・お産パット、臍帯箱、消毒セット）	3,200	セット
マタニティガウン	850	枚
テストパック（自費）	1,020	回
分娩キット （シート・足袋・膿盆・チューブ・吸引チューブ・ヘソクリップ・ガーゼ・綿花・綿玉）	2,400	セット
直後パット	710	枚
ハイマットスーパー	110	枚
乳房マッサージ	2,100	回
産科医療補償制度保険料	16,000	児
リング挿入 FD-1	16,400	回
リング抜去	9,000	回
フィクストン	590	枚
半切・大角・大四っ切（デュープ フィルム）コピー代	1,050	枚
四っ切・六っ切（デュープ フィルム）コピー代	630	枚
CD-R	1,100	枚
採尿パック	90	枚
紙オムツ（大人用）	90	枚
着衣セット料	3,820	—
着衣（ディスポ）	1,300	枚
スリッパ（ディスポ）	170	足
セカンドオピニオン	11,000～	—
面談料	5,500	回
診察券再発行	100	回
初回診療（自費レーザー）	5,640	回
予後観察（自費レーザー）	1,848	回
色素斑レーザー照射	6,000	cm
PET/CTがん検診料	125,000	回
顔面用バンテージ	6,930	個
在宅訪問交通費 車賃	37	円/km
	その他費用 （有料道路・駐車場など）	

その他 詳細は医事企画課までおたずねください

令和2年10月1日現在

8. 選定療養費に係る事項

1) 特別の療養環境の提供（室料差額）

種別	1日につき	病室番号
個室使用料	13,600円	404. 405. 406. 407. 461. 511. 514. 606. 607. 608. 657. 705. 715. 756. 757. 758. 765. 806. 807. 808. 815. 856. 857. 858. 865
	10,500円	409. 410. 610. 611. 658. 659. 710. 711. 760. 761. 810. 811. 860. 861

2) 病院の初診に係る事項

他の保険医療機関からの紹介によらず、当院（200床以上の病院）を受診した患者様については、初診に係る費用として5,000円を頂いています。

ただし、緊急その他やむを得ない事情により、他の保険医療機関からの紹介によらず来院した場合にあってはこの限りではありません。

○相談・支援

医療費、介護相談、がん・認知症等相談、検査・治療・診療等の相談、退院・転医に関する相談、接遇・苦情等の相談・医療事故等の相談、医療情報の提供など、個々の相談内容に応じて医療安全管理者、がん・認知症相談、退院援助などの各専門の職員が対応します。（1F相談コーナー相談受付）

○院内感染防止対策に関する取組事項

・院内感染対策委員会、院内感染対策チーム（ICT）、感染リンクナース会を設置し、医療関連感染を防止し、医療と看護の質の向上と保証に努めています。

・職員に対して院内感染対策に関する研修会の開催、「院内感染対策マニュアル」の整備、院内ラウンドによる現場の感染対策実施状況の確認・指導を行い、適切な感染対策実施の周知徹底に努めています。

・感染症発生状況や耐性菌動向の把握を行い、迅速な対応により感染拡大の防止に努めています。

・抗菌薬使用状況を把握し、抗菌薬の適正使用に努めています。

・地域の医療機関と連携を行い、地域全体の感染対策推進に取り組んでいます。

○栄養サポートチームについて

当院ではNST(栄養サポートチーム: Nutrition Support team)を立ち上げ、1人の患者さまに対し医師・看護師・薬剤師・栄養士・検査技師・理学療法士がそれぞれの専門分野から意見を出し合い、栄養状態の維持または改善が図れるよう栄養管理を行っています。

栄養管理により患者様の生体防衛能を高め、感染症を予防し、入院期間の短縮などの効果が期待できます。

○分娩件数について

2019年1月～2019年12月の分娩件数	483件
2020年4月1日現在配置の産科医師	5人
助産師	10人

○救急トリアージのお知らせ

当院では「救急院内トリアージ」を行っています。

土日曜祝日および夜間の救急外来を受診された方、全員に、院内トリアージ実施基準に沿って緊急度と重症度の判断を行います。

トリアージの結果、緊急性が高いと判断された方は優先して診察を行います。

したがって、先に受付を済まされても順番通りにならない場合があります。

あらかじめご了承ください。

○禁煙外来について

当院では、「禁煙外来」を木曜日 内科8診で開設しています。

受診には、主治医等へ受診希望等をお伝え下さい。